

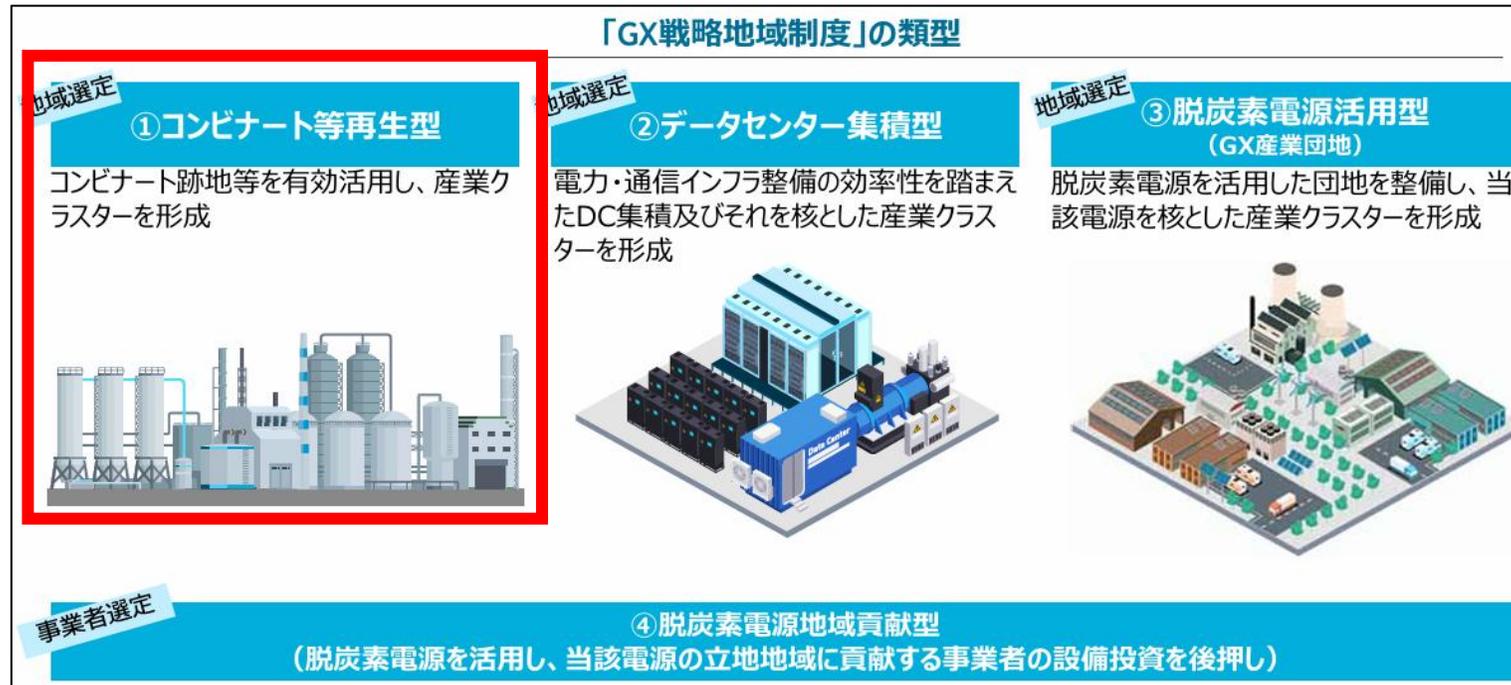
# G X 戦略地域の選定に向けた取組について (コンビナート等再生型)



令和 8 年 3 月 2 日 産業労働部

参考：G X 戦略地域制度を通じた G X 産業クラスターの創出－中間とりまとめ－ (2025.12.22内閣官房 G X 実行推進室)

- 産業資源であるコンビナート跡地等や地域に偏在する脱炭素電源等を核に、「新たな産業クラスター」の創出を目指す「GX戦略地域制度」が創設された。
- 自治体及び企業が参画した上で策定した計画を基に、国が地域を選定し、経済的な支援と規制・制度改革（国家戦略特区制度とも連携）を一体的に措置する。
- 経済的な支援については、既存施策と新規施策を効果的に組み合わせて講じることとされている。



 **本県は、コンビナート等再生型の選定を目指す**

# これまでの取組について



タスクフォースストップと知事の意見交換



コンビナート連携会議後のセレモニー



👉 本県は、上記タスクフォースのメンバーを発起人として立ち上げた、**「山口県GX戦略地域推進コンソーシアム」**を共同申請者として申請

👉 コンソーシアムには、発起人の(株)ドリームインキュベータ、ユニバーサルマテリアルズインキュベーター(株)、(株)YMFG ZONEプランニングをはじめとした**企業等45者が参加**

決意表明 STATEMENT

本構想は、山口県を起点として、①革新技術をいかにした新たなGX事業が次々と生まれ、②日本の強みである素材から製品に至るフルセットのサプライチェーンが、脱炭素エネルギーの利用やDXによって高度化した産業構造へ転換していくことを目指しています。

このために、産業資源である県内3つのコンビナートを軸に、GX型の産業集積を促進し、「新たな産業クラスター」を創設していきます。

我々は、「世界で輝くGX産業拠点」の形成に向け、全力で取り組んでいきます。

MADE IN JAPAN 山口県知事 村岡嗣政

## 選定要件(コンビナート等再生型)

以下の観点から総合的に評価

- ① インフラ整備に関する観点 (1項目)
- ② 競争力強化に関する観点 (5項目)
- ③ 脱炭素に関する観点 (1項目)
- ④ 地域との連携等に関する観点 (3項目)  
※自治体等によるコミット

## 支援策

- ① 既存用地・設備の有効活用を促進
  - ・ 共用インフラの整備支援
  - ・ 設備撤去等、用地転換の迅速化を促す支援 ほか3項目
- ② GX新産業の担い手の呼び込み
  - ・ 事業化促進支援
  - ・ ディープテックスタートアップの支援 ほか1項目
- ③ 事業収益性の向上を促進
  - ・ GX推進機構等による出資・債務保証等の金融支援
  - ・ 真に競争力のある製品に対する需要創造支援
- ④ 必要な規制・制度要望への対応 (国家戦略特区制度とも連携)

## 今後のスケジュール

全体

規制・  
制度改革

支援措置

一次審査後、  
2026年**春頃**  
**有望地域の選定**

事業計画の洗練/最終審査

- ・ 国家戦略特区WG等で議論

- ・ 有望地域における計画の洗練について必要なサポートを実施

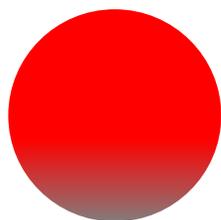
2026年**夏頃**  
**GX戦略地域の決定**

必要な支援の実施

- ・ 国家戦略特区の区域指定
- ・ 規制の特例等の措置を実施

- ・ 個別予算事業/制度措置の要件に合致するGX戦略地域の事業に支援を実施

# 本県の全体構想及びGX関連事業について

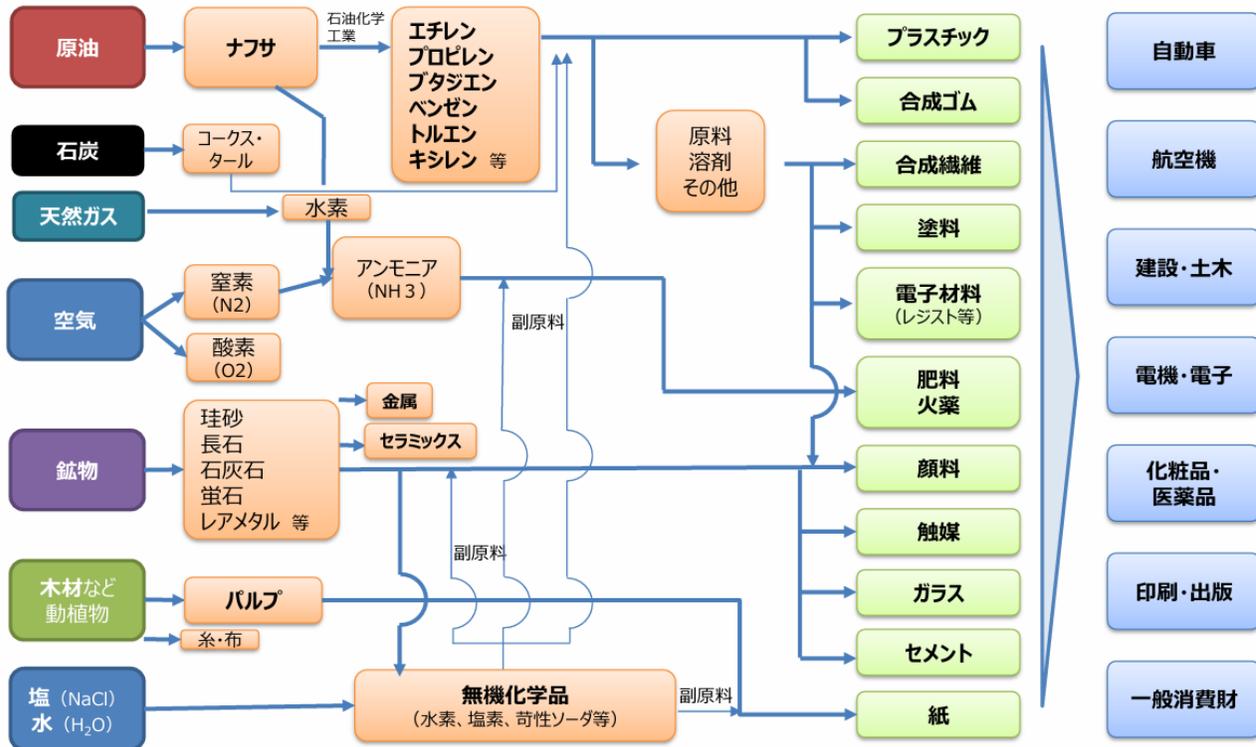


MADE IN

JAPANの復権は“山口県”から。

- ✓ 素材産業は、自らの脱炭素化を追求しながら、機能性製品やGX製品等の高付加価値製品等の供給等を担うポテンシャルを保有
- ✓ 3つのコンビナート(宇部・山陽小野田、周南、岩国・大竹)が近接し、その近隣にも多様な産業が集積する稀有な産業立地
- ✓ 海の玄関口となる国際拠点港湾・重要港湾に近接

## 素材産業の主なサプライチェーン※



- 素材産業のサプライチェーンを構成する石油・化学・鉄鋼・製紙・セメント等の業種を中心に、山口県の3地域でコンビナートを形成
- 主要なサプライチェーンもコンビナートに近接して立地し、山口県近郊で強固に形成

## コンビナートに近接する港湾

区分	港湾名
国際拠点港湾	徳山下松港、下関港
重要港湾	岩国港、宇部港、小野田港、三田尻中関港



- 徳山下松港港湾脱炭素化推進計画を策定 (令和6年3月)
- 宇部港及び小野田港港湾脱炭素化推進計画を策定予定 (令和8年3月)

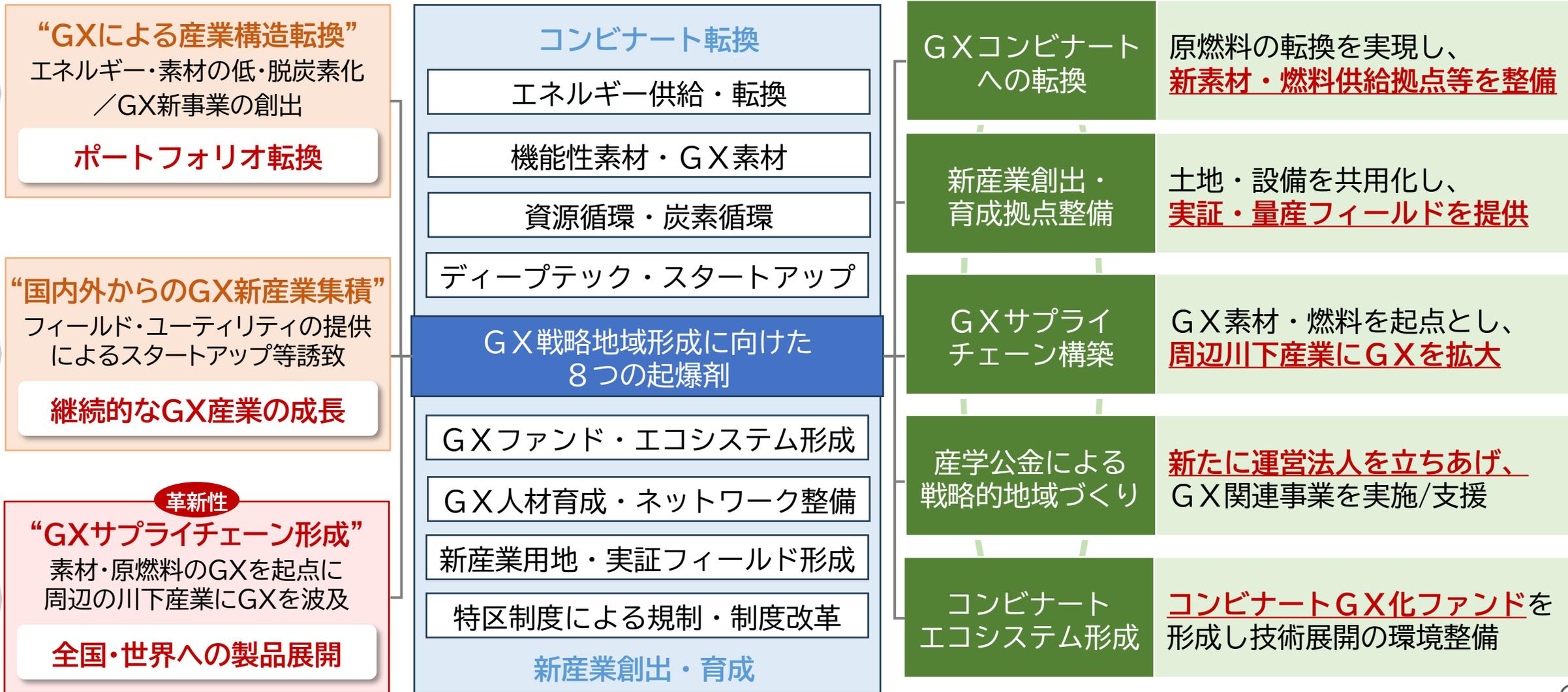
※出典：素材産業の国際競争力強化に向けた戦略 (令和8年2月 経済産業省素材産業課)

※図は山口県土木建築部港湾課ホームページより

# 山口県が目指す姿、8つの起爆剤及び5つの重点取組

圧倒的に幅広い素材産業の集積や、川下産業への密接な繋がりを強みとして、国際拠点港湾である徳山下松港を起点に世界へとGXを広げていく震源地になることを目指す。

山口県が目指すGX戦略地域の姿

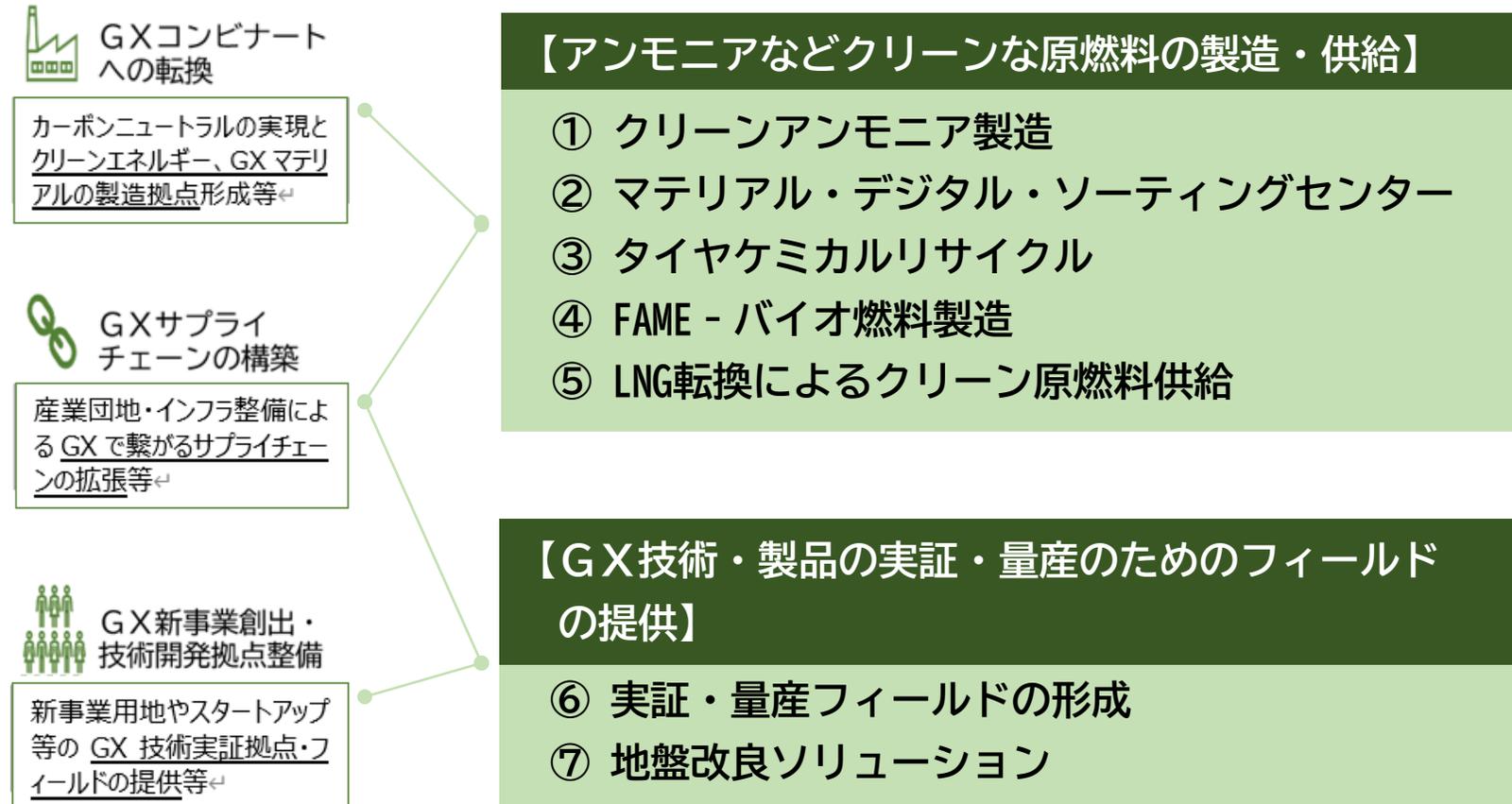


アンモニアの製造設備や技術を活かした国産クリーンアンモニアを製造。また、先進的な資源循環技術の活用やLNG転換によるクリーンな原燃料の製造・供給を行うとともに、GX技術・製品の実証・量産のためのフィールドの提供を行うことにより、国内外のスタートアップ等にとって魅力的な新産業育成拠点の形成やGXサプライチェーンの構築を図る。

<「重点取組」項目との関係>

<GX関連事業>

<地域のポイント>



■国産クリーンアンモニアの製造

■新産業育成拠点の形成

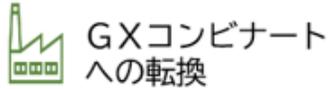
■GXサプライチェーンの構築

大規模な港湾設備を有する強みを生かし、バイオマス燃料の利活用が進展。  
整備が進むCNPの取組と連動した原燃料の大規模な転換によりエネルギー・素材の一大供給拠点を形成するとともに、  
エコシップ関連分野への参画を進め、GXサプライチェーンの拡張を図る。

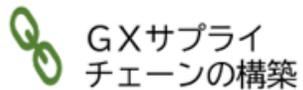
<「重点取組」項目との関係>

<GX関連事業>

<地域のポイント>



カーボンニュートラルの実現と  
クリーンエネルギー、GXマテ  
リアルの製造拠点形成等



産業団地・インフラ整備によ  
るGXで繋がるサプライチェ  
ーンの拡張等

## 【CNPの取組と連動した原燃料の大規模な転換】

- ⑧ クリーンアンモニア・バイオ燃料  
：脱炭素エネルギー供給
- ⑨ クリーンアンモニア・バイオマス発電  
：脱炭素電源活用
- ⑩ 林業活用：化学品/燃料
- ⑪ 廃棄物ソーティング：資源リサイクル-熱利用LCCN
- ⑫ CO<sub>2</sub>分離回収：化学品/燃料/CCS
- ⑬ 環境事業製品拠点整備

## 【エコシップ関連分野への参画】

- ⑭ 船舶燃料バンカリング
- ⑮ 舶用部品製造拠点整備

■大規模港湾と一体的なエネルギー・  
素材の一大供給拠点の形成

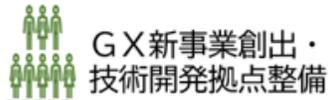
■GXサプライチェーンの拡張

高い技術力を有するスタートアップ企業の誘致をきっかけとして、リサイクル素材・燃料の製造・供給を行うとともに、カーボンニュートラル（CN）燃料の供給を見据えたエネルギーインフラを整備し、国内有数のケミカルリサイクルやカーボンリサイクルチェーンの形成を図る。

< 「重点取組」項目との関係 >

< GX関連事業 >

< 地域のポイント >



新事業用地やスタートアップ等の GX 技術実証拠点・フィールドの提供等

## 【リサイクル素材・燃料の製造・供給】

- ⑯ ケミカルリサイクルPET樹脂製造拠点整備
- ⑰-1 バイオマス由来CO<sub>2</sub>の利活用によるCN燃料等の製造



カーボンニュートラルの実現と クリーンエネルギー、GX マテリアルの製造拠点形成等

## 【CN燃料の供給を見据えたエネルギーインフラの整備】

- ⑰-2 都市ガス供給網の整備

■ **スタートアップと地域企業との連携による国内有数のケミカルリサイクルやカーボンリサイクルチェーンの形成**